

デーヴォ ガイド



2025.5.5-11

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディポジションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

19:11 死人に触れる者は、それがどの人のものであれ、七日間汚れる。

19:12 その者は三日目と七日目に、先の水で身の汚れを除いて、きよくなる。三日目と七日目に身の汚れを除かなければ、きよくならない。

19:13 死人、すなわち死んだ人間のたましいに触れ、身の汚れを除かない者はみな、

【主】の幕屋を汚す。その者はイスラエルから断ち切られる。その者は汚れを除く水を振りかけられていないので汚れていて、その者の中になお汚れがあるからである。

19:14 人が天幕の中で死んだ場合のおしえは次のとおりである。その天幕に入る者と、天幕の中にいる者はみな、七日間汚れる。

19:15 ふたをしていない口の開いた器もみな、汚れる。

19:16 また、野外で、剣で刺し殺された者、死人、人の骨、墓に触れる者はみな、七日間汚れる。

19:17 この汚れた者のためには、罪のきよめのために焼いて作った灰を取り、器に入れ、それに新鮮な水を加える。

19:18 きよい人がヒソブを取ってこの水に浸し、それを天幕に、すべての器の上に、そこにいた者の上に、また骨、刺し殺された者、死人、墓に触れた者の上にかける。

19:19 そのきよい人が、それを汚れた者に三日目と七日目に振りかけ、七日目にその人の汚れを除くことになる。その人は衣服を洗い、水を浴びる。その人は夕方にはきよくなる。

19:20 汚れた者が身の汚れを除かなければ、その人は集会の中から断ち切られる。【主】



の聖所を汚したからである。汚れを除く水がその人に振りかけられなかったので、その人は汚れている。

19:21 これは彼らに対する永遠の掟となる。汚れを除く水をかけた者は、その衣服を洗わなければならない。汚れを除く水に触れた者は夕方まで汚れる。

19:22 汚れた者が触れるものは、すべて汚れる。それに触れた者も夕方まで汚れる。」

死はアダムとエバが神に逆らって自己中心の罪に陥ってしまったことから、呪いを受けてもたらされました。ですから罪から来る報酬は死なのです。神様はこの死を興味本位や軽々しい態度で考えることをよしとなさいませんでした。死とは誰もが迎えるものですが、罪から来る汚れであるということを民が体験する必要があるのです。

もしも当時に娯楽でホラーや怪談的な映画やゲームがあったら否定されたことでしょうか。興味本位、娯楽的だからです。

また、この死に打ち勝ったイエス様の十字架と復活は、死の汚れを知ってこそ、その恵と力のすばらしさを知ることができるのです。イエス様にあらためて感謝しましょう。その絶大な力に驚きをもってひれ伏しましょう。

死んだもの、すなわち永遠の命を持たない価値観や交わり、救いをないがしろにするものへの警戒をしつつ、そのようなものに思いが汚されないように（つまり悪影響を受けないように）気をつけましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



6日 火曜

民数

20:1 イスラエルの全会衆は、第一の月にツィンの荒野に入った。民はカデシュにとどまった。ミリアムはそこで死んで葬られた。20:2 そこには、会衆のための水がなかった。彼らは集まってモーセとアロンに逆らった。20:3 民はモーセと争って言った。「ああ、われわれの兄弟たちが【主】の前で死んだとき、われわれも死んでいたらよかったのに。20:4 なぜ、あなたがたは【主】の集會をこの荒野に引き入れ、われわれと、われわれの家畜をここで死なせようとするのか。20:5 なぜ、あなたがたはわれわれをエジプトから連れ上り、このひどい場所に引き入れたのか。ここは穀物も、いちじくも、ぶどうも、ざくろも育つような場所ではない。そのうえ、飲み水さえない。」20:6 モーセとアロンは集會の前から去り、会見の天幕の入り口にやって来て、ひれ伏した。すると【主】の栄光が彼らに現れた。20:7 【主】はモーセに告げられた。20:8 「杖を取れ。あなたとあなたの兄弟アロンは、会衆を集めよ。あなたがたが彼らの目の前で岩に命じれば、岩は水を出す。彼らのために岩から水を出して、会衆とその家畜に飲ませよ。」20:9 そこでモーセは、主が彼に命じられたとおりに、【主】の前から杖を取った。20:10 モーセとアロンは岩の前に集會を召集し、彼らに言った。「逆らう者たちよ。さあ、聞け。この岩から、われわれがあなたがたのために水を出さなければならぬのか。」20:11 モーセは手を上げ、彼の杖で岩を二度打った。すると、豊かな水が湧き出たので、



会衆もその家畜も飲んだ。

20:12 しかし、【主】はモーセとアロンに言われた。「あなたがたはわたしを信頼せず、イスラエルの子らの見ている前でわたしが聖であることを現さなかった。それゆえ、あなたがたはこの集會を、わたしが彼らに与えた地に導き入れることはできない。」20:13 これがメリバの水である。イスラエルの子らが【主】と争った場所であり、主はご自分が聖であることを彼らのうちに示されたのである。

水がなかったことにより、民はまた不平をもらいました。水を求めるというのなら良かったでしょうが、不平不満の心になり、「逆らった」うえに「争って」、さらにはこれまでの神の恵と守りを否定して、「私たちも死んでいたら良かった」と言い放ち、「私たちが死なせようとするのか」と、有り得ないことで自分たちを被害者でもあるかのように言っています。

人の心が信仰から反れると、まさにこのように際限なく否定的になるものです。人を批判しておきながら、自分が被害者のように思ってしまうので、私たちは気をつけなければなりません。

モーセとアロンは主の前にひれ伏したので、この点は見習うべきでしょう。しかし、「逆らう者たちよ。」と人々をさばき、「私たちがあなたがたのために水を出さなければならぬのか。」という非難のことばとともに、怒りにまかせて2度も岩を打ってしまいました。神様は「命じれば…」と言われたのに、彼は怒りを納めることができなかったのです。

モーセはここで自我が出てしまいました。不信仰な人々を認定して指導するのではなく、感情を主として自分中心になってしまったのです。しかも主に従っているようでありながら、自分の怒りを主にしてしまったのです。

モーセは約束に地に入るという最高の栄誉を失いました。私たちも時として、忍耐の限りを尽く

さないなら、最高の栄誉を失うことがあるので気をつけなければなりません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



7日 水曜

民数



20:14 さて、モーセはカデシュからエドムの王のもとに使者たちを遣わして言った。「あなたの兄弟、イスラエルはこう申します。あなたは私たちに降りかかったすべての困難をご存じです。

20:15 私たちの先祖はエジプトに下り、私たちはエジプトに長年住んでいました。しかしエジプトは私たちや先祖を虐待しました。

20:16 私たちが【主】に叫ぶと、主は私たちの声を聞いて、一人の御使いを遣わし、私たちをエジプトから導き出されました。今、私たちはあなたの領土の境界にある町、カデシュにおります。

20:17 どうか、あなたの土地を通らせてください。私たちは、畑もぶどう畑も通りません。井戸の水も飲みません。私たちは『王の道』を行き、あなたの領土を通過するまでは、右にも左にもそれません。」

20:18 しかし、エドムはモーセに言った。「私のところを通ってはならない。通るなら、私は剣をもっておまえを迎え撃つ。」

20:19 イスラエルの子らはエドムに言った。「私たちは大路を上って行きます。私たちと私たちの家畜があなたの水を飲むことがあれば、その代価を払います。歩いて通り過ぎるだけですから、何事でもありません。」

20:20 しかし、エドムは、「通ってはならない」と言って、強力な大軍勢を率いて彼らを迎え撃つために出て来た。

20:21 こうして、エドムはイスラエルにその領土を通らせることを拒んだので、イスラエルは彼のところから向きを変えた。

いをすることはありませんでした。私たちも主がついているからといって、義をふりかざして人と戦うことは控えなければなりません。謙遜と柔和のかぎりを尽くしてのち、主に伺っていく必要があるのです。

もしも主の命であれば、それは永遠の命のためどうしても必要なでしょうから、勇気を持って戦う必要もあります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 8日 木曜

民数



栄光を表わしましょう。

20:22 イスラエルの全会衆はカデシュを旅立ち、ホル山に着いた。

20:23 【主】は、エドムの国境に近いホル山で、モーセとアロンにお告げになった。

20:24 「アロンは自分の民に加えられる。彼は、わたしがイスラエルの子らに与えた地に入ることはできない。それはメリバの水のことで、あなたがたがわたしの命に逆らったからである。

20:25 あなたはアロンと、その子エルアザルを連れてホル山に登れ。

20:26 アロンの衣服を脱がせ、それをその子エルアザルに着せよ。アロンは自分の民に加えられ、そこで死ぬ。」

20:27 モーセは、【主】が命じられたとおりに行った。彼らは、全会衆の見ている前でホル山に登って行った。

20:28 モーセはアロンの衣服を脱がせ、それをその子エルアザルに着せた。アロンはその山の頂で死んだ。モーセとエルアザルが山から下りて来たとき、

20:29 全会衆はアロンが息絶えたのを知った。そのためイスラエルの全家は三十日の間、アロンのために泣き悲しんだ。

アロンはイスラエルのために大きな役割を果たしましたが、かつてはモーセに逆らうということもありました。金の子牛像を造って拝むという罪にも加担しました。それら不従順があったので、彼は荒野で死ぬこととなったのです。

全ての人の最後に主のみこころが表わされます。失敗もありましたが、良き働もあつたアロンに対して、主は彼の栄誉を保ってくださいました。アロンは人生を全うしたと言ってもよいでしょう。

誰もが不完全です。最後は主にお任せしつつ、御

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？





21:1 ネゲブに住んでいたカナン人アラドの王は、イスラエルがアタリムの道を進んで来たと聞いた。彼はイスラエルと戦い、その何人かを捕虜として捕らえた。

21:2 そこでイスラエルは【主】に誓願をして言った。「もし、確かにあなたが私の手に、この民を渡してくださるなら、私は彼らの町々を聖絶いたします。」

21:3 【主】はイスラエルの願いを聞き入れ、カナン人を渡されたので、イスラエルはカナン人とその町々を聖絶した。そしてその場所の名をホルマと呼んだ。

21:4 彼らはホル山から、エドムの地を迂回しようとして、葦の海の道に旅立った。しかし民は、途中で我慢ができなくなり、

21:5 神とモーセに逆らって言った。「なぜ、あなたがたはわれわれをエジプトから連れ上って、この荒野で死なせようとするのか。パンもなく、水もない。われわれはこのみじめな食べ物に飽き飽きしている。」

21:6 そこで【主】は民の中に燃える蛇を送られた。蛇は民にかみついたので、イスラエルのうちの多くの者が死んだ。

21:7 民はモーセのところに来て言った。「私たちは【主】とあなたを非難したりして、罪を犯しました。どうか、蛇を私たちから取り去ってくださるよう【主】に祈ってください。」モーセは民のために祈った。

21:8 すると【主】はモーセに言われた。「あなたは燃える蛇を作り、それを旗ざおの上に付けよ。かまれた者はみな、それを仰ぎ見れば生きる。」

21:9 モーセは一つの青銅の蛇を作り、それを

旗ざおの上に付けた。蛇が人をかんでも、その人が青銅の蛇を仰ぎ見ると生きた。

この戦いはイスラエルから仕掛けたのではなく、また勝手なものでもありませんでした。主に誓願をして、その信仰を表わしつつ行ったものです。当然、主は勝利を与えてくださいました。

私たちに与えられる勝利もこのようなものです。自分勝手な願いからチャレンジしても、良い結果はありません。信仰を表すために、また主の栄光を表わすために、主の御心を聞いてチャレンジしましょう。

イスラエルはまたしても神とモーセに逆らいました(4節~)。もう数え切れないほど主に逆らったのですが、それはまさに私たち人間の姿でしょう。神様の忍耐と赦しはもう残っていないと思えます。しかし主は、青銅の蛇によって彼らの命を救ってくださいました。これはまさにイエス様の型です。もう赦しの余地などないだろうという罪のために、主イエス様は呪われた蛇のようになって、あの十字架で死んでくださったのです。

感謝しつつ、どんな罪でも、主に言い表して赦しときよめをいただきましょう。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 10日 土曜

民数

21:10 イスラエルの子らは旅立って、オボテで宿営した。

21:11 彼らはオボテを旅立ち、日の昇る方、モアブに面した荒野にあるイエ・ハ・アバラムに宿営した。

21:12 彼らはそこを旅立ち、ゼレデの谷に宿営し、

21:13 さらにそこを旅立って、アモリ人の国境から広がっている荒野にある、アルノン川の対岸に宿営した。アルノン川は、モアブとアモリ人との間にあるモアブの国境だったからである。

21:14 それで、『【主】の戦いの書』にもこう言われている。「スパのワヘブとアルノンの谷川とともに、

21:15 アルの定住地に達する谷川の支流は、モアブの領土を支えている。」

21:16 彼らはそこからベエルに向かった。それは【主】がモーセに、「民を集めよ。わたしが彼らに水を与える」と言われた井戸である。

21:17 そのとき、イスラエルはこの歌を歌った。「井戸よ、湧きいでよ。あなたがたは、これに向かって歌え。

21:18 笏をもって、杖をもって、君主たちが掘り、民の尊き者たちが掘り下げたその井戸に。」彼らは荒野からマタナに進み、

21:19 マタナからナハリエルに、ナハリエルからバモテに、

21:20 バモテからモアブの野にある谷に行き、荒れ野を見下ろすピスガの頂に着いた。

イスラエルは遠回りをしなければなりませんでしたが、それは主の恵ともなりました。後の世に「井



戸よ、湧き出でよ」と歌になったほどで、川と井戸、すなわち水を得るという幸いを得たのです。

私たちの人生も遠回りも決して失敗ではありません。主の恵をそのためにいただけるのです。ただし、それには条件があります。もしも悔い改めるべきことがあれば、悔い改め、あくまでも主に従うことです。主はその信仰に答えて、幸いを用意して下さいますから、主の御心を常に意識していきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



21:21 イスラエルは、アモリ人の王シホンに使者たちを遣わして言った。
 21:22 「あなたの土地を通らせてください。私たちは畑にもぶどう畑にもそれて入りません。井戸の水も飲みません。あなたの領土を通過するまで、私たちは『王の道』を通りません。」
 21:23 しかし、シホンはイスラエルが自分の領土を通ることを許さなかった。シホンはその兵をみな集めて、イスラエルを迎え撃つために荒野に出て来た。そしてヤハツに来てイスラエルと戦った。
 21:24 イスラエルは剣の刃でシホンを討ち、その地をアルノン川からヤボク川まで、アンモン人の国境まで占領した。アンモン人の国境は堅固だった。
 21:25 イスラエルはこれらの町々をすべて取った。そしてイスラエルは、アモリ人のすべての町、ヘシュボンとそれに属するすべての村に住んだ。
 21:26 ヘシュボンはアモリ人の王シホンの町であった。彼はモアブの以前の王と戦って、その手からその全土をアルノンまで奪っていた。
 21:27 それで、詩のことばを語る者たちも言っている。「来たれ、ヘシュボンに。シホンの町は建てられ、堅くされている。
 21:28 ヘシュボンから火が出た。シホンの町から炎が。それはモアブのアルを、アルノンにそびえる高地を焼き尽くした。
 21:29 モアブよ、おまえはわざわいだ。ケモシュの民よ、おまえは滅び失せる。その息子たちは逃亡者、娘たちは捕らわれの身。アモ

リ人の王シホンの手によって。
 21:30 しかし、われわれは彼らを投げ倒し、ヘシュボンはディボンに至るまで滅び失せた。われわれはノファフまで荒らし、それはメデバにまで至った。」
 21:31 こうしてイスラエルはアモリ人の地に住んだ。
 21:32 そのとき、モーセは人を遣わしてヤゼルを探り、ついにそれに属する村々を攻め取り、そこにいたアモリ人を追い出した。
 21:33 さらに彼らが向きを変えてバシヤンへの道を上って行くと、バシヤンの王オグが、エデレイで戦うために、そのすべての兵とともに彼らの方に出て来た。
 21:34 【主】はモーセに言われた。「彼を恐れてはならない。わたしは彼とそのすべての兵とその地をあなたの手にと与えた。あなたがヘシュボンに住んでいたアモリ人の王シホンに行ったように、彼にも行え。」
 21:35 そこで彼らは、彼とその子たちとそのすべての兵を討ち、一人の生存者も残さなかった。こうして彼らはその地を占領した。

多くの信仰の失敗を繰り返したイスラエルでしたが、主の懲らしめと恵の体験によって、信仰的に整えられてきたと思われまふ。彼らは主の戦いを勇気を持って戦って、勝利を得たのです。エモリ人とバシヤンは強国でしたが、信仰によって勝利することができるのです。
 過去の信仰の失敗から学びまふ。主に依り頼み、主のために勇気を持って戦う者となりまふ。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

